

さ・か・た

2025.12

第 101 号

生活支援第一部(おおくら園)



生活支援第二部(かまくら園)



生活支援第四部(はちくら園)



生活支援第三部(とがくら園)

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 障害者支援施設 宮城県船形の郷

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21

TEL 022-345-3282 / FAX 022-345-3984

<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

ホームページにも、行事や活動の様子が掲載されておりますので、是非ご覧ください。



ホームページは
こちらから！

師走を迎え、寒さもひとしお身に染まる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、船形の郷では6月から給食業務の外部委託を開始し、この機会に利用者様一人ひとりの健康管理のため「栄養ケアマネジメント」に取り組むこととしました。個人ごとの栄養ケア計画を策定し、代理人の皆様の同意もいただき、11月から本格的に実施しております。引き続き栄養士を中心に健康の維持改善に努力をまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。



★納涼会

今年の納涼会は法被をまといお祭り気分に。利用者様が好みのシロツツギを選び、豪華トップピングのかき氷を召し上がりました。

生活支援第一部
(おおくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

利用者様の地域生活及び社会参加を目標に、日々支援に努めています。

また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員から近況報告を行っており、意見等を伺いながら、支援に反映しています。

各部署の取り組み状況について

★自立訓練の取り組み

自立訓練室を使い、小集団で様々なことを体験しています。電子レンジを使ったり、コーヒーを豆から挽いて淹れてみたり、楽しく生活スキルを身につけています。

★夏祭り

9月に夏祭りを開催しました。綺麗な花火を眺めながら「夏を感じられた」と笑顔が広がりました。



★日帰り旅行

10月に日帰り旅行で【秋保ヴィレッジ アグリ工の森】を訪れました。周辺の観光や足湯、お土産の購入など、各々楽しめました。



いつも過ごす空間とは別の場所で、購入したお弁当を食べたり、誕生日会を行なうことで、利用者様の違った表情がみられます。



生活支援第二部 (かまくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事をとおして潤いのある生活を送っていただけます。



イラストで予定を確認している様子



集中できる環境で得意な課題に取り組む様子

☆強度行動障害支援の取り組み
強度行動障害とは、不安・緊張から本人の健康や周囲の暮らしに影響を及ぼす行動の頻度が高いため、予定の視覚化や仕切りを用いた集中で適した支援を提供しています。また、自立課題や役割を通して、自信や意欲の向上と自立した日常生活に向けた取り組みを行っています。



☆夏祭り

8月に開催した夏祭りは、利用者様も法被を着て参加しました。出店の魚釣りゲームやかき氷、花火など、夏を満喫した1日となりました。



ご要望や季節に合わせて、毎月イベントを実施しています。希望メニューの提供や七夕会、装飾製作、懇談会など、楽しめていました。



☆日常生活の様子

日々の生活の充実を図るために、一人ひとりに合わせた日中活動、社会体験外出などを行っています。



☆ハロウィン

10月のハロウィンでは、仮装をして園内を歩き、お菓子を受け取りました。シールを集めてお菓子と交換するイベントに達成感を感じられたようです。



リハビリテーション支援部

日々支援を行う中で「良い姿勢で過ごすこと」「一人ひとりに適した介助方法を実施すること」の重要性を改めて感じています。今後も引き続き、利用者様に適したリハビリを



慣れないと機能訓練室から飛び出します。そこで、機能訓練室から飛び出したり返し支援することで、機能訓練室でプログラムに取り組めるようになります。心に合わせ、自発的に取り組めるように場面設定を工夫し、楽しみながら運動機能を高められるようにします。支援を行った際は、個々の興味・関心に対しても予防的な支援も重要です。方だけではなく、身体障害が軽度の方もいらっしゃいます。しかし、繰り返し支援することで、機能訓練室でプログラムに取り組めるようになります。支援を行った際は、個々の興味・関心に合わせ、自発的に取り組めるように場面設定を工夫し、楽しみながら運動機能を高められるようにします。支援を行った際は、個々の興味・関心に合わせたりハビリテーション(以下「リハビリ」)を実施・検証し、支援の充実を図っています。



★生活の様子
利用者様が楽しみながら元気に過ごせるよう、身体機能や好みに合わせて支援を行っています。生活リハバシリ、口腔ケア、散歩、貼り絵、塗り絵など、様々なことに取り組んでいます。

生活支援第三部 (とがくら園)

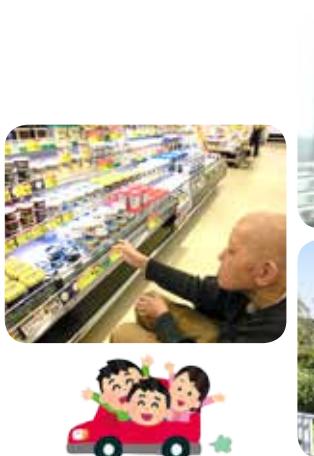
◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

高齢の方が多く、7割以上が車椅子を使用しており、移動には介助が必要です。生活リハビリや季節を彩る行事をとおして、健康を維持し、利用者様のたくさんの笑顔があふれる生活につながるよう、取り組んでいます。



★茶話会
茶話会でお茶やデザートを味わいました。利用者様同士の穏やかな交流の機会になりました。



★外出
利用者様のご要望に合わせ、ドライブや買い物に出掛けました。外出中は笑顔が多くみられ、満喫された様子でした。



★誕生会と懇談会
利用者様の誕生日に、誕生会と部長との懇談会を開催しています。喜びの声や笑顔がみられ、毎回和やかになります。



★敬老会

長寿をお祝いする会を開催しました。皆様、これからも元気にお過ごしください。

【お知らせ】
職員一同、手洗いや消毒を徹底し、感染予防に努めています。

【食中毒予防の取り組み】
冬に流行するノロウイルスに備えて、9月に職員向けの食中毒予防研修会を行いました。
『食中毒予防のポイント』

- ①よく触るところは汚染されやすい
例…スマホ、手すり、蛇口等
- ②10℃～60℃は菌が増える危険温度帯
- ③アルコール消毒は効かない
ノロウイルスはハイターなどの次亜塩素酸ナトリウムが有効。
- ④加熱による消毒
中心温度85～90℃90秒間以上の加熱でウイルスが不活性化。
- ⑤感染しても症状がない場合がある。不顕性感染と呼ばれ、感染拡大のリスクがある。

【お知らせ】
6月から給食業務が外部委託となりました。委託業者と密に連携し、美味しい食事を提供させていただいているため、11月からは栄養や健康状態の維持、食生活の質の向上を目的とした「栄養ケアマネジメント」を実施しています。利用者様ごとに栄養ケア計画書を作成し、二一ズの把握や早期対応を行うなど、より一層専門的なサービスを提供できるよう努めています。

食事サービス課

